

1 はじめに

本校は、大淀川河口の南岸に広がる平野部に位置している。近くに宮崎空港があり、校区は古い歴史を誇る地区と、工業団地、新興住宅地等が混在し、活気にあふれている。また本校の生徒は純朴で明るく素直であり、他人の話にしっかり耳を傾けたり、与えられた課題や仕事に熱心に取り組んだりすることができる。

令和3年度より、本校はN I E実践指定校となっており、1年目である本年度は、「新聞を活用した読解力・表現力の向上」をテーマにして取り組んだ。

今年度は新聞を読む機会を増やしたり、新聞記事を読んだ感想を考えたりするなどの活動を通して、新聞に親しみをもたせることにした。新聞活用を通して、生徒の読解力や表現力を向上させることを目的とした。

2 本年度の取組

(1) 新聞コーナーの設置

① 目的

- ・ 生徒が気軽に新聞を手にすることができる場を設置することで、新聞に対する興味・関心を高める。
- ・ 新聞を活用した活動に積極的に参加しようとする意欲を高める。

② 取組方法

- ・ 生徒の行き来が多く、新聞を目にしやすい図書室の入り口に新聞コーナーを設置した。
- ・ 新聞コーナーの横に机と椅子を用意することで、その場でじっくり読むことができるようにした。
- ・ 過去3ヶ月分の新聞は日付順に整理して、自由に読んだり、資料として活用できたりするようにした。



【図書室の新聞コーナー】



【新聞社ごとに整理して保管】

(2) N I Eコーナーの設置

① 目的

- ・ 全校生徒がよく見る場所に新聞記事を掲示し、生徒の新聞への関心を高める。
- ・ 新聞を活用した活動に積極的に参加しようとする意欲を高める。

② 取組方法

- ・ 玄関から入ってすぐのところにN I Eコーナーを設置した。
- ・ N I Eコーナーには、本校の生徒が投書した作文が掲載された新聞を掲示したり、気になるニュース記事を掲載したりするようにした。



【N I Eコーナーの様子】

(3) 新聞記事「14歳の君へ 私たちの授業」を利用した取組

① 目的

- ・ 様々な分野で活躍する人々の文章を読むことで、自分の生き方を振り返る。
- ・ 新聞記事の感想を書くことで、作文力（表現力）を向上させる。

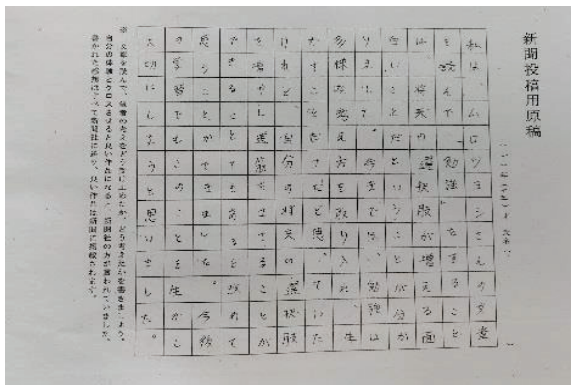
② 取組方法

- ・ 毎月1回新聞社から送られてくる「14歳の君へ 私たちの授業」の記事を生徒たちが読み、それに対して感想文を書き、新聞社に投稿する。

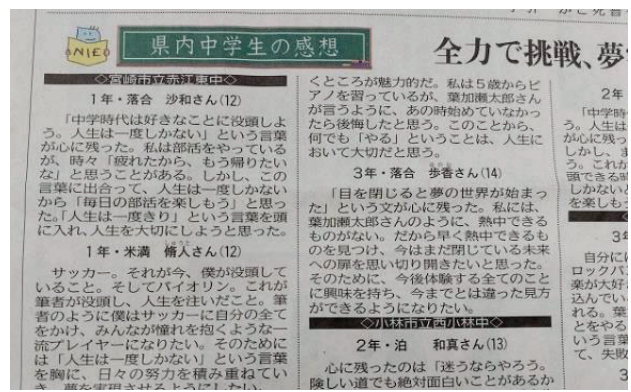
③ 取組の実際

新聞の連載企画「14歳の君へ 私たちの授業」は、毎月1回、全国の中学生に向けてさまざまな分野で活躍する人が語る「授業」である。心に響く言葉や素敵な生き方を紹介しているものである。これに対して感想文を書くことで、作文力（表現力）の向上を図った。また書いた作文を新聞に投稿することで、自分の考えを広く社会に訴える機会を設けることができた。

また、新聞に掲載された本校生徒の作品は、N I Eコーナーに掲示し、全校生徒に読んでもらうことにした。



【原稿用紙に書いた生徒の感想文】



【新聞に掲載された生徒の感想文】

(4) 「新聞」感想文コンクールへの参加

① 目的

- ・ 新聞を読んで、社会で起きていることへの関心を高める。
- ・ 書いた感想文を新聞に投稿することで、自分の考えを広く社会に訴える機会を設ける。
- ・ 新聞記事の感想を書くことで、作文力（表現力）を向上させる。

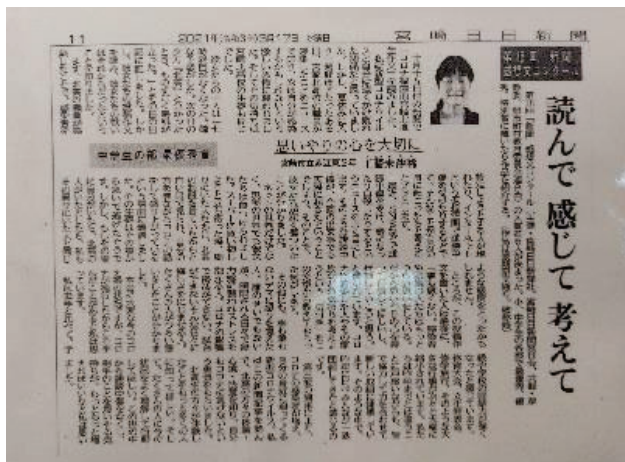
② 取組方法

- ・ 県内で発行された新聞の記事に対して感想文を書き、それを新聞社に投稿する。

③ 取組の実際

宮崎日日新聞社では県内の小学1年生から中学3年生までを対象に、「新聞」感想文コンクールを実施している。県内で発行されたいずれかの新聞の朝刊記事の感想、例えば「新聞について考えたこと」や「新聞を読んでためになったこと」「新聞の活用方法」などについて原稿用紙2～4枚内にまとめるというものである。

昨年度は、本校の2年生女子がこの新聞コンクールで最優秀賞を受賞した。



【新聞に感想文の全文が掲載】



【最優秀賞のインタビュー記事】

3 成果と課題

【成果】

- 学校全体でN I Eについての取組を行うことができた。
- 新聞を活用した取組が学校全体で増えたため、新聞に目を通す生徒が増え、新聞記事の内容について、先生に質問したり、自分で調べたりする生徒が出てきた。
- 継続した期間が長い活動については、生徒の読解力・表現力の向上が見られた。
- 新聞社に投稿したり、コンクールへ応募したりすることで、生徒の学習意欲が高まった。

【課題】

- 生徒の読解力・表現力のさらなる向上を目指して、全職員での連携体制を整え、継続的な取組を行う必要がある。
- 授業で新聞記事を活用するためには、教科によっては、授業の内容に合っている新聞記事が見当たらず、新聞記事を使いたいけど使えない状態が生じた。それを解消する手立てとして、普段から授業で使える素材を蓄積しておく必要がある。
- 今後も継続的に新聞を利用した活動ができるように、内容や方法を考えて工夫していく必要がある。